

門
流
巻
3
3369
4

○大坂



御城代松平貞徳公殿
申す。松のやも川乃新井丸系と
ごうん移り津那山の尾より
しゆり尾跡よりなるを
一垂らさるる石山の御城より
玉造 栗原山よりなるを
大坂は今八軒屋より西のよりの
後よりあふのきくに御座てそのよりの伊福山

○天海天神

今い橋終て名のと藤きり去年紀二
十の巻に百舌倉我下楠正行が山石
御座ると天神乃敷まで追つる
しとるへる

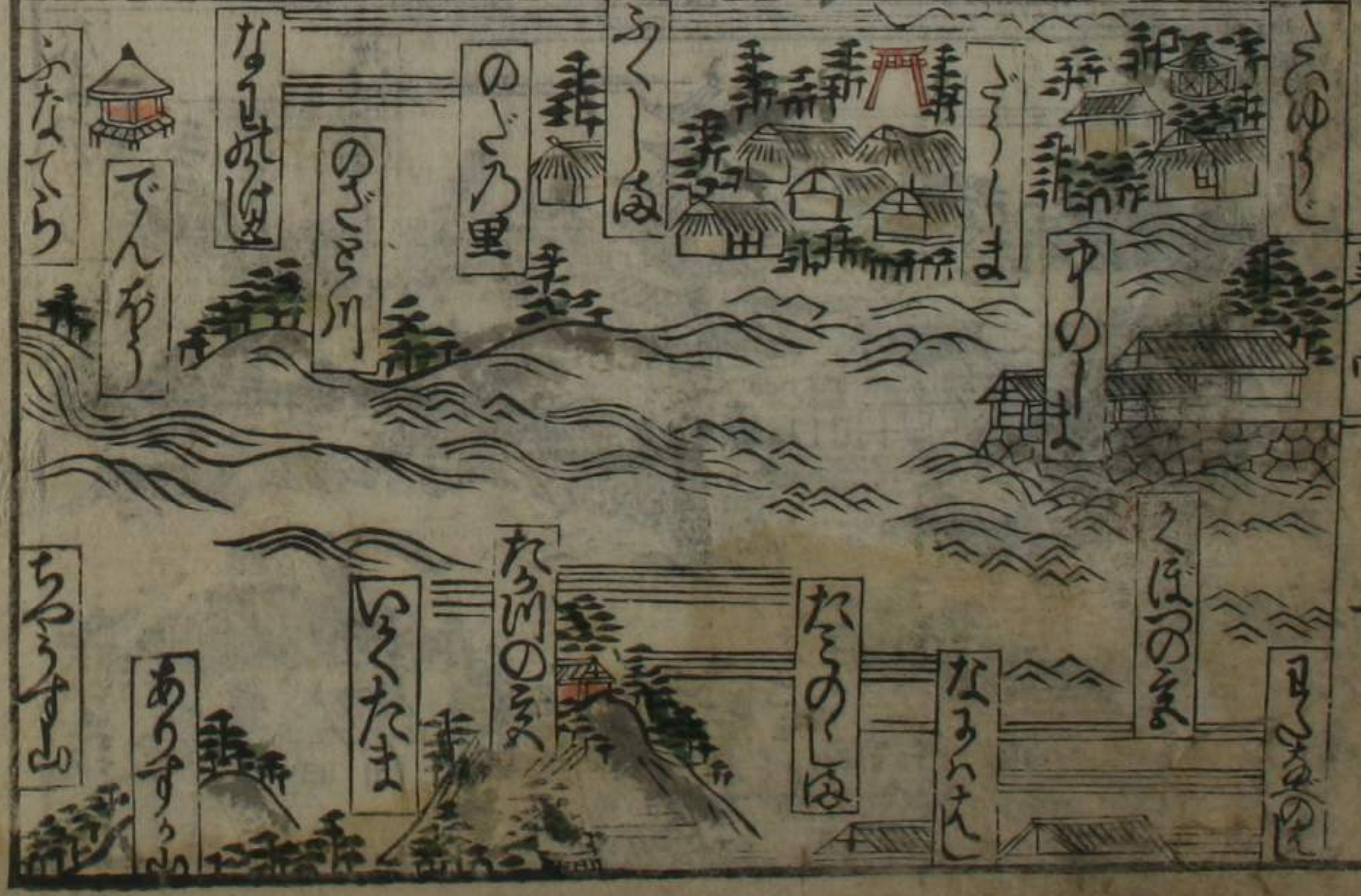
○天海天神

仁王六十二代村上天皇の御宇天曆の
御年中遷宮ありし也



昭和二十七年
三月十八日
購求

○之保津宮 今の天神橋の邊に在り
 弘明寺野の王子と稱し乃名と云ふ
 ○新原橋 秋の紅葉見せしむけ初
 らまきりと元亨の秋あるらんらん
 ○因善寺 今の中津と云ふあり
 新原の邊にありしありの邊に田舎あり
 ○大藏寺 仁王平二代淡路の天皇弘
 仁十二年の建つるの地也
 ○堂宮 仁王百四代後淡路門文月
 年より堂宮の合運舟日本に記入
 ○福乃 雀籠名物 ○野田白衣名茶
 元暦二年二月十日大納言板東源博
 ○野里川 淡路縣名物 ○滝のけし
 ○信法寺 今の雲谷と云ふ首の橋
 灯と挑入船の月名あり
 物あらぬのりめおとすから巻帆と云ふ



○仁王三拾花用 月王の皇子を建つ
 子乃乃建つ 寺須千二百名
 仁王三拾花用 月王の皇子を建つ
 子乃乃建つ 寺須千二百名
 ○天王寺 ○新橋水 ○茶臼山
 ○生玉の邊 社須三百名 茶臼山
 後淡路門淡路縣五年の社也
 ○天王寺 ○新橋水 ○茶臼山
 仁王三拾花用 月王の皇子を建つ
 子乃乃建つ 寺須千二百名
 ○川原宮 淡路縣行少彦良神
 ○鬼系信吉 ○三軒屋むらたけ
 ○一の例 ○上ノ川 ○新橋水
 信法二の寺此の内何れと云ふ
 一の寺本の内山ありて根根つは
 風馬と云ふの神乃のすれちし山ありて
 ○信吉 ○勝向浦 ○天下茶屋



○待掛松 ○一の谷 ○二二三の谷
○御よりの越送あり

○子象内裏屋あり

○決下れ浦

決下れ浦の浦焼煙見ゆし馬殿の旗棚あり
白波の音も衣にたがなり

○須磨寺 真言寺鎮十五

若木橋 吉原の角 あつとり
法乳あり

○松尾村の石塔あり ○行平松

○塩屋

可成の場に焼塩を焼く春はうらたき

○舊湯 ○下野野

如も我は名をいふまにいふまに
いふまにいふまにいふまに

○芝居大明神 ○鹽後塚 ○あつとり

○大石

夢のうけりかたの重なる大石をいふ

○人丸の社 社頭宇治郡の月照院

ほのゝ明光浦の船乗りかたのあつとり

○船馬寺

船馬寺の船馬寺のあつとり

○赤松石塔あり

○明石城あり 松平若狭守殿

大坂よりまゆへ十五里なり

上浦のうねり船橋あり

是より南に山あり

田舎の山をいふ

後浦れ松あり



○里々堂

浦見丹のひらき家宮の奥の焼屋の焼く

○大馬門 ○小馬門 ○花池

漢物とせしれ申すうひてわうてりるがるる申
世の中と流るるうてりるは海はうらむる流るる

○うらむるの里 相士の松 月形

うらむるの松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○尾上寺 ○道徳の松の地蔵

○ほてり ○石塔屋 ○うらむる

○懸掛の松 ○上池 ○あまのり

うらむるの松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○芳根の天神 ぶらまの松

○元師乃里 ○沖のまげ石

○指沙の松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

大馬のり二千五里のりてりるがるる申

乃新のりてりるがるる申

○鏡磨 ○いあかりの松

いあかりの松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○清水寺 ○野中松の地蔵

野中の松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○うらむる

うらむるの松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○天宮山 天宮山松の地蔵

○一乗院 永徳寺の松

○うらむる

うらむるの松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○うらむる ○あまのり

うらむるの松とせしれ申すうひてわうてりるがるる申

○綱平 綱平の松

○今田 ○あまのり ○あまのりの松

○あまのり ○あまのりの松

○あまのり ○あまのりの松



社領三百二十石別當金光院

○塩籠 八重木のてふおのれも

○石海流 〇赤又天海

○物海 〇小物海 〇唐海

○白海 〇三浦唐海

○りまき 〇唐風浦

○おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海

〇おの海海 〇おの海



○娘が海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海

〇おの海 〇おの海



- 野原
- 草津
- 和布新原
- 西条乃城 松平左衛門尉

- 國分山
- 松山
- 今治の城 松平孫河守尉
- むすね
- 三浦
- 新町
- 菊間
- 淡村
- 原
- 又月溪

世の中は明らなるものもなきものもなきものなり



- 山伏の源平
- 大分津
- 三原の茂 松平左衛門尉
- 尾乃道
- 三原の社
- 十八女
- 日吉村
- おのの
- 穴浦
- 淡美の源平



○かほがりの濃波

日月夜に横の金まき松中島前を掃く掃の

○三浦

○蒲前寄 ○三浦寄 ○小東

○風系乃候

まきとの時てり拂い風をの候風有る候

○折系 ○海江

○松山の渡日松平路の寺殿

○名物平素麴 釣巻

海江場ゆき松平路九折五九折申す

○この渡 ○三津

○伊予乃る根

と國の海江のまのり時を月よりゆきま

○松田乃屋 ○野下 ○松平田



○換寄 ○祝寄 ○大島

○籠上島 ○上の渡戸 ○松島寄

○大例の渡日お取をのり殿

○中浦寄 ○羽津

まきよりの海江の海をのり殿の四

○吉松 ○三浦寄

○折寄 ○かきまき

○猫寄 ○三浦渡

○松乃 ○せび ○かきら寄

○まきら ○あつた里 ○大入 ○まうまて

○らうまが ○まうまが ○まうまが

○大ががが ○まががが

○まががが ○まががが



○是より南の海をさし後也
 ○是より北の海をさし後也
 ○牛岩 ○おら

坂根のつり舟は根根のつり舟は河何とも
 ○お浦さ ○湯の嶽
 ○さむく

○是より北の海をさし後也
 ○三浦尾 お平長尾の殿
 ○天孫の社 ○田宮
 ○小泊 ○熊崎 ○中野
 ○右田 ○石田 ○岩屋
 ○中津津 ○丸屋の鼻 ○あさひ
 ○さくら村 ○原田村 ○こえり



○是より南の海をさし後也
 ○竹田の城より中川流海を殿
 ○松久

○おび村 ○松久
 ○さむく ○おの海をさし後也
 ○さむく ○おら ○山本乃鼻
 ○お見村 ○道が鼻
 ○海根崎 ○千珠岩

○是より北の海をさし後也
 ○海根崎のありし神軍乃時
 ○海根崎のありし神軍乃時
 ○海根崎のありし神軍乃時
 ○千珠岩



是より南の海をこえて

○竹嶋

○本所の磯と松平首の殿

○この面

○宇佐八幡宮 是より北へ

世津代とていふ所なるは物と付ゆ海に

○中津の磯と小笠原信濃の殿

○白山 ○白根 ○田の浦

○早良の磯 ○月形 ○日向村

西暦十二月廿日の書事の人

地中を穿て入てて常と新

是より新所の所より

○内裏 平とひて

○柳浦 左中宿信濃元祿の和

んりてをい柳浦の磯とて

○赤坂 ○長崎 ○この所

是より北の所なり

○養老

是より北の所の時より

○比良山 ○公三

是より北の所の時より

○小倉の磯と小笠原を

○この所 柳浦 同柳系

○此山を

園と柳と

思ふた

この面

日能

い山



○蓮の沈明非の社

○龍峯寺の城之堀為加多き殿

○娘峯 ○羽為 ○後前

○この為 ○かま為 ○林集為

○玉流川

梅の香も先物とて清く玉流川の流れありて
雲の影もあつて鮎の川柳もあつて若新風を吹
かす海流も川せし海流もて流に流む春の月影

○川

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿

○松平の城と松平の殿



あつちの国は松浦の浦の海にさかすか
見えて北の海也

○長崎 大津也

いふに夜毎の津中へ来りて
抱来敷体有るは抱来賣
人もつらうへ寛敷九千
三軒の事也

○丸山 松平町に依りて事也

○松平 河内津人ともせうと事也
○あつちの国に事也

松平を境に依りて
松平丹後を境

きしりのる事の地也

○さきさき二百四十里

○南の事二百十五里

○福前五百四十里

○あつちの国に事也

○ひまわり二百四十里

○河内と九百里

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也

○あつちの国に事也



○らう海とつる子或百三千里

右は日本道の移り也

○大村の城を大村因幡守殿

いしの石抱鯉

○牛柳ら ○塔の津屋 ○寺島

○少島 ○かきよ島 ○うづま島

○大が岩 ○お島 ○大津子

○吉川島 ○まの島 ○まのこ

○とのお島 ○ちんちん ○まの岸

○仲の寺島 ○大島 ○竹島

いづれも長崎の海也

○平丸の城を松浦肥前守殿

○さき島 ○かきよ島 ○黒島

○うづま島 ○河内浦 ○うづま島

○まの島 ○お島 ○まの岸

○あつ島 大津津守殿

いしの石抱鯉

○まの島 人家を統おる西千八里

長崎より西千八里又

是より西千八里

○對馬の城を宗對馬守殿

新島人參龜門 朝鮮玉を海

久々の入舟の海まで浪風心

うたぬくくくくくくくくくく

まのくくくくくくくくくく

まのくくくくくくくくくく

まのくくくくくくくくくく

まのくくくくくくくくくく



元祿貳年己酉月吉日

大坂子孫藤村公孫藤村南命

尾金屋庄丸塲板



Faint vertical text on the left side of the page, possibly bleed-through or ghosting from the reverse side.

